

滑稽さと存在の空虚



撮影・八上和裕(著作権あり、転載禁止)

不条理演劇の名作『授業』

11月 毎文広島で初上演

原作／ウジェーヌ・イヨネスコ 演出／井垣泰介
翻訳／安堂信也、木村光一

11月2日(日) 15:30開場 16:00上演

11月3日(月) 13:30開場 14:00上演

出演／井垣泰介、西原里菜、あんがいおまる

お一人様／3,500円(要電話予約)

■ウジェーヌ・イヨネスコ(1909年11月26日〜1994年3月28日)
主にフランスで活躍したルーマニアの劇作家。サミュエル・ベケット、アルチュール・アダモフとともに、フランスの不条理演劇を代表する作家の一人である。50年に『禿の女歌手』でデビューし、『授業』は翌51年の作品。日本では中村伸郎が72年より11年間にわたって、小劇場 渋谷ジアン・ジアンで『授業』を毎週上演した。本家のパリではユシエット座が50年以上の長きにわたり、『禿の女歌手』と『授業』を継続的に上演している。

(本公演は著作権代理 株式会社フランス著作権事務所から承認を受けています)



毎日新聞社の文化事業

毎日文化センター広島

〒730-0042 広島市中区国泰寺町1-1-3 (国泰寺中学校東側・じぞう通り沿い)

受付時間 10:00~20:00(日曜・祝日を除く)

TEL.082-245-1414

全講座がご覧になれます→<http://www.eisu.ac.jp/mainichi/>

